

2025 年度 探究型カリキュラム各授業学習目標・授業目標 科目名：2 年探歴史探究

高等部教育目標				
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う				
探究型カリキュラム教育/学習目標				
Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける				
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning				
1. 自分事として ＜オーナーシップ／一人称＞	2. 社会/実践を通して ＜PBL 型/アクション＞	3. 知識を大事に ＜自ら得る知識/高める関心＞	4. コミュニケーションを通して ＜自分/他者のやりとり＞	5. 生徒・教員が共に ＜共に探究する関係性＞
上位学習目標				
【知識・技能】 ・「人類の長い歩み」について、正しい知識を身に着けている。 ・過去から現在に至る道筋を整理して、現在の持つ意味を確かめている。 ・未来を築こうとする時に、それを役立てようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・歴史上に表出した出来事の中から、自らの関心に基づく問題について調べ、その解決方法を考えている。 ・自ら採り上げた歴史上の問題点を、多角的に考察し・批判的な検証を行っている。 ・課題を自ら調べ、そこから得た知識や考察といった成果を、他者に向けて発表しようとしている。 【学びに向かう力・人間性】 ・自ら立てた問い・結論付けたことを、社会的に披露・伝達しようとしている。 ・先人の歩み・先行研究を謙虚な姿勢で学び、その上に知の集積を行おうとしている。				
下位学習目標				
【知識・技能】 ・歴史とは何か、という根源的な事を理解している。 ・フィールドワークを含む様々な手段を用いて、知識を集め・理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・先行研究を比較し、自分の価値観を検証しようとしている。 ・課題探究に際し、歴史的な見方（多角的・批判的な考え方）を働かせて、考察しようとしている。 ・探究した結果、その成果について、効果的に他者へプレゼンテーションしようとしている。 【学びに向かう力・人間性】 ・歴史から問いを立てる際、それを調べるのが現在・未来へどのように生かされるかを考えている。 ・問を立てる際に、歴史の時代をすぐ特定するのではなく、視野を広げて探求しようとする事ができる。				

授業日	4/15(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・「歴史とは何か」 根本的な事を理解する。「歴史の検証」 様々な手法・それぞれの長短について学ぶ。 ・「歴史の探究」 は、現代・未来へ役立つのか。		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間目	各地に有る「円錐形の山」を見て考える。固定観念にとらわれていないか？ 「歴史とは何か」。各自の考えを述べ・学会の定説を知る。「戦争について」	
評価方法			
宿題指示	オリエンテーションのため、特に定めず		

授業日	4/22(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
	本時の具体的な目標 ・ 関西学院構内の歴史遺産を探索するフィールドワーク ・ 「関西学院大学博物館」 見学		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間目	関西学院キャンパスの中にある、歴史的な遺産の数々を見学。まずは高等部の校舎を出てチャペル前にある「ソテツ」・引き続き大学院 1 号館前にある「門扉」を見学。いずれも原田キャンパス時代に合ったものを上ヶ原に持ってきたということを知る（ソテツは新たな株をわけたもの）。引き続き社会学部裏にある「関西学院構内古墳」を見学する。その後近くにある「上ヶ原用水分水樋」を見学。最後に「関西学院大学博物館」を訪問し、展示を見学。高等部に帰った後、総括するレポートを作成	
評価方法	見学時に作成したレポートを評価。		
宿題指示	特になし。		

授業日	4/30(木)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ リサーチクエストの立て方・間違った立て方・5W1H について ・ 「戦争についての格言」 ・ 「ウクライナ戦争について」		
時間 授業内容	5 時間目 		

授業日	5/13(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 現在進行している「ウクライナ戦争」は、主に西洋からの情報によって日本人は知ることになる。そこでロシアの視点に立ち、戦争に正当性があるのかなど、多面的な検証を行う。		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間目	ディバートの準備 ディバート「ロシアのウクライナ侵攻は、自衛のため当然である」 原則 2 人一組となって 3 対戦を行う。それぞれ論題に対して「肯定」・「否定」・「司会」と立場を変えて行った。当初西側メディアの情報を中心に、ロシアを非難する考えが圧勝すると思われたが、「ロシアは一度もヨーロッパを侵略したことがない」「ソ連が解体する際、ウクライナは NATO 入りしないという約束があった」、「ゼレンスキー大統領が積極的に NATO 入りを公言したことがロシアの恐怖という旋律に触れた」、といった主張が高校生には印象深かったようで、ロシアの主張を代弁するディバートの評価が増えた。（絶対的な数はウクライナよりだが）	
評価方法			
宿題指示	試験に向かうため、特になし。		

授業日	5/27(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・「日本人の成り立ち」と「移民問題」		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間の	日本人のルーツはまず「縄文人」が南北から日本へ入り、時代を経て「渡来系弥生人」と呼ばれる人が朝鮮半島経由で流入。その後ミックスして現在の日本人になる、という従来までの考古学・人類学の手法で紹介した。その後縄文時代と弥生時代について学び、伊丹市にある縄文・弥生二つの異なった特徴を持つ集落が、約 5 0 0 年間にわたって共存していた事実を伝える。 6 時間目には最初「最新科学 DNA の解析」に関する映像を視聴する。従来判別不能とされてきた 9 8 % のデータが、最新の科学の発達で利用可能となり、そこから太古のことがわかるようになってきた。とくに日本に当初入ってきた縄文人が、アジアのどの地域の特徴とも異なる DNA を持つことが分かった。日本人がアジアの他地域と異なることが多いのには、理由があったということである 最後に現代の移民問題は、アフリカで生まれた人類が世界に旅立ってきた歴史とよく似ているという文化人類学者の視点を紹介。現在の移民問題に生かすことはできないか。	
評価方法	配布したプリントの内容や授業中の発問に対する思考		
宿題指示	次回ディベートの準備		

授業日	6/3(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ 「日本の昔ばなし」ができた背景、そこから移民についての問題を考える。		

時間 授業内容	5 時間目	生徒が小さい時に見たり聞いたりした「日本昔ばなし」の中で、印象的な物語を 3 つ挙げ、それを隣の人と共有する。そのあと『WEB 歴史街道』のアンケートにより、読者によるベスト 10 を発表。1 位にノミネートされたのが『桃太郎』。ちなみに生徒のアンケートでも桃太郎が 1 位。そのあらすじを互いに確認してプリントへ記す。その後『まんが日本昔ばなし』の映像を約 10 分視聴。その際小さいときには気づかなかった疑問点をメモさせる。視聴後に皆でその疑問点を共有。なぜ桃から生まれたか・なぜ犬・猿・キジがお供をするのか・きび団子を食べるとなぜパワーアップするのか・なぜ鬼が退治されなくてはいけないのか…といったクリティカルな疑問点が挙がる。
	6 時間目	昔ばなしができた背景を説明。道徳・忠君愛国の精神を注入するため、意図的に編まれたことを説明。また「桃太郎」に関する伝説は全国に有り、中でも岡山・香川・愛知がベスト 3。しかし 1 位の岡山県は 1960 年町おこしのため、岡山県全体でプロモートした結果であること知る。ただ岡山県では桃太郎伝説ができる下地の史実があることを説明。ちょうどヤマト政権が勢力を全国に伸長する過程で、前方後円墳を各地に伝えたこと、岡山には巨大な前方後円墳が多くあり、ヤマト地方にとっても岡山（古代は「吉備国」）は扱いに苦慮していた地域であることを説明、吉備の発展には朝鮮半島の百済から製鉄技術を持った移民が移住していたこと、彼らを温羅（うら）と呼んだことを説明。このような実力者集団を支配下に入れるため、軍事力を行使したことが考えられている。この一連の流れを正当化するため、吉備には悪さをする鬼（温羅）が住んでおり、それを退治するためヤマト政権が使者を送ったのが吉備津彦と呼び、これが桃太郎（健康）のモデルと考えられる。これに犬（仁）・猿（智）・キジ（勇）やきび団子（富）も加えられる。ちなみに岡山県には鬼やお供となった動物にまつわる人名や地名が各地に残る。例として 5.15 事件で暗殺された犬養毅首相の実家は、吉備津神社の近くに存在し、神社の前に犬養毅の銅像が立っている。 とにかくヤマト政権の支配には正統性あるものという歴史認識へつなげたと考えられる。
評価方法	プリントの内容理解と、発問に対する思考	
宿題指示	1 回遅らせたが、次回ディベートの準備	

授業日	6/10(火)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 移民に関する複数の視点で検証する。 ・ 論題「日本は積極的に移民を受け入れるべきでない」		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間目	5 班に分かれ、準備した内容を最終確認 3 回の対戦を行う。その中で肯定・否定両方の視点に長所・短所があることを知る。 短期的には対立を生むことは間違いないが、長期的には移民を受け入れてきた歴史を知る。	
評価方法	ディベートの準備・当日のシート内容、ディベーターとしての活躍		
宿題指示	特になし		

授業日	6/17(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・日本に存在するお城をいくつか採り上げ、成立の経緯や歴史的出来事を検証する。 ・お城が人々にどのような影響を与えるかを探究する。		

時間 授業内容	5 時間目	トリップアドバイザー社調べ、人気のお城ランキングを提示 1 位：姫路城、2 位：松本城、3 位：熊本城…以下 10 位まで 日本城郭協会が選定した「日本百名城」のHPを生徒へ配信。その中から以下のお城の歴史的経緯や関連する出来事を紹介。 ・根室シャチ　・会津若松　・江戸　・大坂　・熊本　・首里　の各城並びに周辺情報を伝える。
	6 時間目	6 時間目は、百名城のリストから各自脅威を持つ城を採り上げ、調べてそこから気づいたこと・興味を持ったことを調べてもらった。
評価方法	授業プリントの内容理解、並びに調べ学習の内容	
宿題指示	特になし	

授業日	6/24(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
	本時の具体的な目標 ・ 神戸・西宮の歴史を概観し、当たり前のように思っていたことの沿革を知る。 ・ それぞれの居住地や普段の生活エリアに存在する史跡・名跡から、歴史を感じ取る。		
時間 授業内容	5 時間目	神戸市の歴史を振り返る。神戸の名称が「生田神社」の神領「神戸（かんべ）」からきている。 古代「大輪より田泊・福原京」「源平一の谷合戦」「南北朝期の湊川合戦」・近代「神戸港開港」 など、政治に絡んだ大きな出来事が発生。それは神戸という利便性が良く良港が備わってきたから などを理解する。	
	6 時間目	西宮市の歴史では、まず西宮が「京都から見て西にある重要な神社＝廣田神社」が語源であることを 理解する。現在では「西宮神社」は商売繁盛の「えべっさん」で有名だが、当社は本来廣田神社 の「南宮」として発生している。それが時代とともにこちらが繁盛し、門前町も備わり有名となっ た。西国街道の宿場町としてまた江戸期に良質な宮水から酒蔵ができ、主要産業になったことなど を学ぶ。 その後各自で両市にまつわる中から気になったことを調べる機会を作った。	
評価方法	授業プリントの内容理解、並びに調べ学習の内容		
宿題指示	夏休みに現在考える「歴史探求」の大罪を考え、二学期の中間報告に備える。		